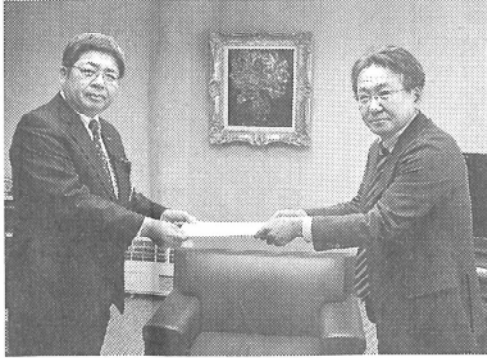


2020年3月6日付
鉄鋼新聞

働き方改革実現に 向け統一目標伝える 日建連中国支部を訪問

全
国
鉄
構
協
会
中
国
支
部



要望書を手渡した山本
理事長(左)

(支部長・
中国支部
から、同会

全国鉄構工業協会
(会長・米森昭夫氏)
は、4月1日から鉄骨
加工業者にも働き方改
革対応が求められる中
で、全構協の統一目標
として「現場作業の4
週6休実現(第一段階
として)」を掲げ、取
引先への周知を図ると
ともに連携

した働き方
改革の実現
活動を推進
する。この
取り組みは
全国建設業
協会・日本
建設業連合
会と歩調を
合わせて推
進すること
から、同会
中国支部
(支部長・
山本泰徳ス
テントス社
長)は、今月2日に日本
建設業連合会中国支部
(支部長・三木正道氏)
を訪問し、要望書を手
渡して統一目標の周知
と連携した実現活動な
どについて意見交換し
た。同支部では10日に
も広島県建設工業協会
(会長・檜山典英氏)
に同様の要望書を届け
る。

日建連では既に現場
作業の4週8休実現に
向け取り組みを進めて
いるが、公共事業比率
が高い土木部門に比
べ、民間主体の建築部
門では進展がやや遅れ
気味との実態がある。
全構協としては、自助
努力のみでは働き方改
革実現は難しいと判断
し、労働時間削減に最
も寄与する工事現場で
の休日取得促進の第一
段階として今回の統一
目標を設定。関連団体
への働きかけとともに
連携した活動によって
実現を目指している。